



しろいし



～支えあう まちづくり～



スタッフ一同笑顔で待っています！

～『明るく・楽しく・元気よく!』をモットーに活動しています!～

今年で22年目を迎える「白石市生きがいデイサービス」。この日の参加者は平均年齢85歳、なかには100歳の方もおり、元気に体を動かしていました。こまめな手指消毒、水分補給、常時換気と、コロナ禍でも万全の体制で臨んでいます。

天井にスタッフ手作りの様々な飾りがキラキラと輝き、ワクワクと心を沸き立たせます。4名のスタッフが工夫をこらし、安心・安全な「楽しみ」を提供する笑い声の絶えない「白石市生きがいデイサービス」です。

社会福祉協議会とは

地域のお子さんから高齢者の方まで、みなさんが生涯を通して安心して暮らせるよう、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業などを行う法人です。

主な内容

- ◆ 令和4年度事業計画及び予算… 2・3P
- ◆ 社協会費のお願い・令和3年度社協会費実績報告… 4P
- ◆ 社協会費活用事業のご紹介… 5P
- ◆ まちしるべ… 6P
- ◆ 新しいレクリエーション用具のご紹介・ボランティア保険・ボランティア行事保険… 7P
- ◆ 厚生労働大臣表彰・新成人からの寄付受納など… 8P

社会福祉法人白石市社会福祉協議会

「社協だよりしろいし」は、赤い羽根共同募金の配分金を財源に発行しています。



令和4年度事業計画及び予算

「誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられる地域づくり」の実現に向け、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業など各種地域福祉事業に取り組んでいきます。

重点目標

- ①ともに支え合う地域づくりの推進
- ②小地域福祉活動の推進
- ③在宅福祉サービスの推進
- ④組織体制の強化と自主財源の確保

事業内容

1 法人運営事業

- (1)法人運営事務事業
- (2)助成事業
- (3)地域生活支援事業
- (4)社会福祉大会事業
- (5)地域福祉活動計画事業

2 共同募金配分事業

- (1)共同募金配分事業

3 地域福祉推進事業

- (1)生活福祉資金事務事業
- (2)福祉サービス利用援助事業《まもりーぶ》
- (3)生きがいデイサービス事業「ほっとくらぶ・スパ」
- (4)白石市バス運行事業
- (5)高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業
- (6)生活困窮者支援事業
- (7)子どもの学習等支援事業
- (8)生活支援体制整備事業

4 やまぶき園管理者運営事業

- (1)福祉作業所やまぶき園事業
- (2)福祉プラザやまぶき事業

5 介護保険事業

- (1)訪問介護事業
- (2)居宅介護支援事業
- (3)地域包括支援事業

6 障害福祉事業

- (1)居宅介護事業

7 緊急援護事業

- (1)生活安定資金事業
- (2)生活安定資金欠損補填積立金事業
- (3)母子福祉対策資金事業
- (4)応急小口資金貸付事業



▲居宅介護支援事業
ケアマネジャーのサポートで安心



▲共同募金配分事業
地域の楽しい居場所（サロン）



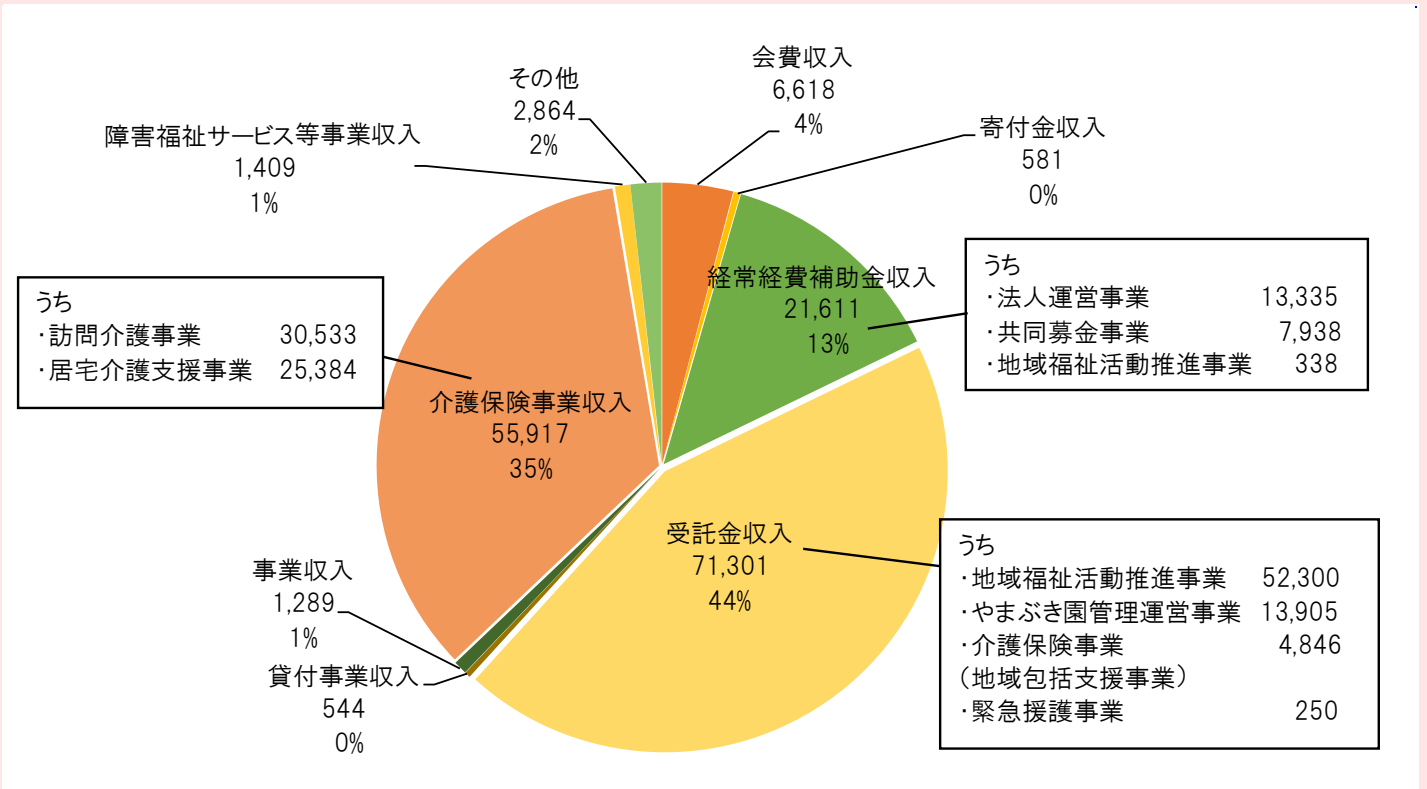
▲生活困窮者支援事業の生活
相談の様子

令和4年度予算額

収入総合計額

1億6,213万4千円

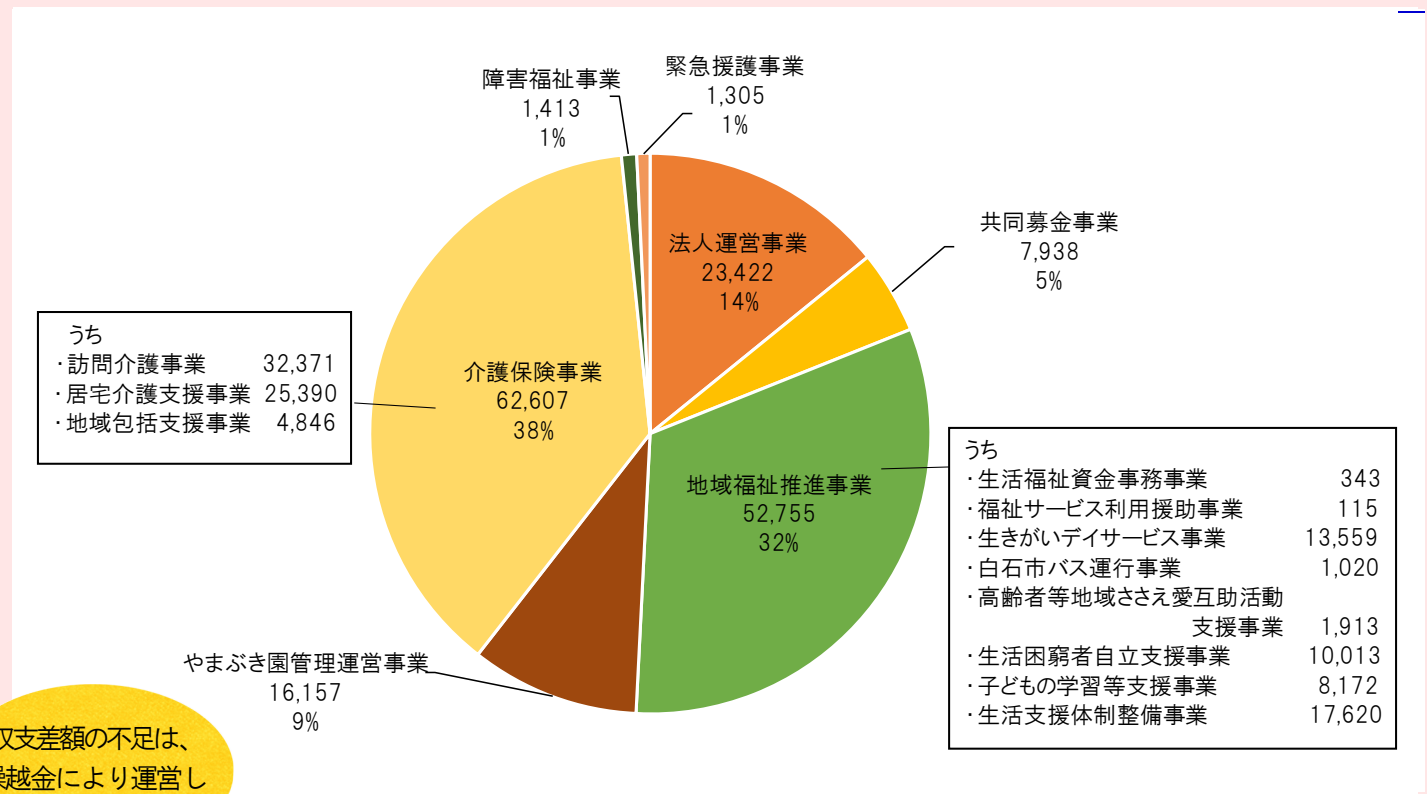
(単位：千円)



支出総合計額

1億6,559万7千円

(単位：千円)



収支差額の不足は、繰越金により運営しています。



社協会費のお願い

みなさんの会費が地域の福祉活動を支えています

少子高齢化が加速している今日において、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増えており、介護予防、認知症予防が重要になっています。

また、家族形態の多様化などから子育て環境が変化するほか、生活困窮者世帯や引きこもりなど多くの地域課題が生じています。

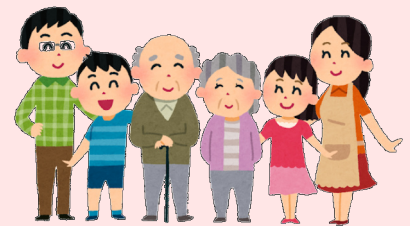
白石市社協において、「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり」を目指して取り組んでいる次のページに記載しております事業など様々な地域福祉活動は、みなさんからの貴重な社協会費によって支えられています。

今年度も、白石市民のみなさんをはじめ、法人、団体など多くの方に会員になっていただき、地域の支え合い活動をますます発展・活性化していくため、会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。

会費の種類と金額

会費の種類		金額
一般会員	白石市民の方	年額 600円
特別会員	社協事業にご賛同いただける個人の方	年額 1,000円以上
特別賛助会員 (法人・団体)	市内の社会福祉施設、法人・団体	年額 2,000円以上

社協活動にご理解・ご賛同いただき、会費納入にご協力ください。



令和3年度社協会費実績報告

みなさんからのたくさんのご協力ありがとうございました

昨年度は、みなさんからのあたたかいご支援と白石市自治会連合会各支部のご協力により、**6,398,600円**の会費が寄せられました。誠にありがとうございました。

合計

会員数 10,529

会費額 6,398,600 円

支部	会員数	会費実績額	支部	会員数	会費実績額
白石	5,516	3,317,400	大鷹沢	568	346,200
越河	457	278,600	白川	482	311,400
斎川	316	202,400	福岡	2,112	1,278,400
大平	806	495,400	小原	272	168,800

(令和4年3月1日現在)

社協会費活用事業のご紹介

社協会費は、福祉活動推進のための大切な財源として、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、ボランティア・福祉教育の推進、各地域における福祉団体等への助成に活用させていただいています。

1 ブックスタート事業

～share books, share happiness～

ブックスタートとは、健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。

抱っこのぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを赤ちゃんに届けます。

本会では、子育て支援事業として「ブックスタート事業」を実施しており、市の6か月児育児相談で絵本を贈呈しています。



2 小学校入学応援事業

～ご入学おめでとうございます～

小学校入学を祝福するとともに、小学校生活で必要と思われる物品を贈呈し、お子さんの生活・学習を応援します。



4 車イス用自動車貸出事業

高齢または障がいがある方などの外出支援のため、車イス自動車を貸出しています。



3 社会福祉大会事業

市民、白石市及び各福祉団体の支援を受け、これまで福祉を推進してきた市内の関係者への感謝と地域福祉活動の推進を図るため開催します。



▲前回の社会福祉大会の様子

5 生活困窮者支援事業

生活相談や見守り活動を通じて、病気や低収入などにより生活に困っている世帯へ、最低限必要な生活用品を支援します。





生活支援体制整備事業～白川地区活動紹介～



生活支援コーディネーター
さいとう ひでと
齋藤 秀人 さん

「気軽に楽しく集まれる場を地域の中に！」という思いから、令和2年7月より「白川オレンジカフェ」が始まりました。また、白川犬卒都婆地区で始まった「いきいき百歳体操」の支援も行っています。公民館や地域住民のみなさんと協力して白川地区を元気にしていきたいと考えています。

気軽に参加
してください



地域に根ざす『白川オレンジカフェ』

毎月第3水曜日の10:00～11:00、白川公民館では「白川オレンジカフェ」が開催されています。

運営スタッフは、民生委員・児童委員、まちづくり協議会、生活支援コーディネーター、ボランティアの方々に構成されており、コロナ対策もしっかりと、安心・安全なつどいの場を提供しています。参加者はおしゃべりや脳トレ、卓上ゲームなど、思い思いに過ごします。30分ほどすると音楽がかかり健康体操タイムが始まります。

この日は座ってできる体操を楽しみました。参加者が先生になって、得意とすることを教えてくれるような機会も設けており、今後は地域への出張オレンジカフェも計画中です。



共同募金配分事業

～津軽三味線演奏会～

白川地区ボランティア友の会主催の「津軽三味線演奏会」が開催され、白石市在住の小野越郎さんによる演奏を楽しみました。

即興性を重んじる津軽三味線は“二度と同じ演奏を聞くことができない”一期一会の音楽です。

みなさん手拍子で盛り上げたり、口ずさんだりと楽しいひと時を過ごしました。



犬卒都婆を元気にする会

いきいき百歳体操『ニコニコ金曜日』

“犬卒都婆を元気にしたい！”と6区自治会長 遠藤正人さん、7区自治会長佐藤一夫さん、民生委員児童委員小畑けい子さん、主任児童委員の伊藤眞利子さんが中心となり、令和3年12月からスタートしました。

毎週集まって身体を動かし、おしゃべりを楽しんでいます。まだ始まったばかり…、半年後、一年後の身体の変化が楽しみです。



※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、中止となる場合があります。
※この事業は「住み慣れた地域」で「自分らしく暮らし続けるまちづくり」を目指し、介護予防・地域支え合いの推進活動を目的としています。

新しいレクリエーション用具のご紹介！

サロンや地域活動での楽しいレクリエーションにどうぞ♪
貸し出しは無料です。詳しくはお問い合わせください。

■ドコデモピンポン(2セットあります)



自由に伸ばせるネット



■白黒ゲーム



手のひらサイズ(8cm)



■フリースタイル輪投げ



■スナッグゴルフ



■レクボウリング&レクゴルフセット



ゴルフ

ボウリング



ボランティア保険・ボランティア行事保険

～令和4年4月1日からボランティア保険・ボランティア行事保険の受付が始まりました～

ボランティア保険

自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動で、団体の会則に則り企画・立案された活動であるか、社会福祉協議会に届け出た活動などの要件を満たす場合に加入できる保険です。

補償内容	傷害	ボランティア活動中の事故によるボランティア本人のケガ
	賠償責任	ボランティア活動中に他人にケガをさせてしまった場合や他人の物に損害を与えてしまった場合など
保険料	300～800円（補償額に応じた5種類のプランがあります。）	



ボランティア行事保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として営利目的を伴わない団体が主催する行事で、参加者が特定できるなどの要件を満たす場合に加入できる保険です。事前に名簿を提出すると、行事開催地までの往復途上の事故も補償される場合があります。

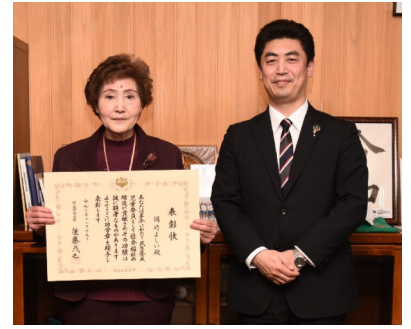
補償内容	傷害	ボランティア活動中の事故によるボランティア本人のケガ
	賠償責任	ボランティア活動中に他人にケガをさせてしまった場合や他人の物に損害を与えてしまった場合など
保険料	宿泊あり	30円～（活動内容により保険料が変わります。） ※参加者20名以上の場合が対象となります。
	宿泊なし	227円～（宿泊日数により保険料が変わります。）
加入単位	1回の行事毎と年間一括があります。	

おかげさ
令和3年度社会福祉功労者厚生労働大臣表彰に岡崎よし子さん

民生委員児童委員の岡崎よしさんが厚生労働大臣表彰を受賞されました。民生委員として平成7年から現在まで約26年ご活躍されており、平成22年より白石地区民生委員児童委員協議会会長を9年間、平成28年より白石市民生委員児童委員協議会会長を3年間務められました。

岡崎さんのご活躍には一言では語れない深い歴史があります。「大変なことも沢山ありましたが、地域の皆さんに信頼され、支えられて続けてこれました。このような賞をいただき、とても感慨深いです。」

岡崎さんのこれまでの経験は何にも勝る地域の宝物です。



▲白石市長に受賞の報告をする岡崎よし子さん(左)



▲寄付金の贈呈
成人式実行委員長 木須玲奈さん(右)

令和3年度新成人から寄付をいただきました

令和4年1月24日、今年度の成人式で新成人たちが集めた募金の贈呈式を行いました。集まった募金19,416円は「高齢者が暮らしやすい地域づくりに役立てて欲しい」と社会福祉協議会に寄付されました。

実行委員長の木須玲奈きす れいなさんは「将来は中学校の教師になって未来のために、子どもたちにも役立つような知恵を持った大人になれるよう頑張っていきたいです。」と抱負を語ってくれました。

あたたかい善意ありがとうございました

福祉に活用してほしいと、みなさんから温かい善意が寄せられました。

♥ご寄付の御礼

- 匿名希望 様 玄米30kg 2件
- 匿名希望 様 玄米60kg 2件
- 匿名希望 様 食料品等 7件
- 令和3年度白石市成人式実行委員会 様 19,416円
- 一般社団法人フローラアクティブサポート (株) フローラ 様 200,000円

♥自動販売機売り上げの一部が寄付され、地域福祉に充てられます。

- トーカドエナジー(株)白石工場 様 12,900円
- 東北電力ネットワーク(株) 白石電力センター 様 3,526円 (令和3年12月1日～令和4年2月28日)



食品「お米等」のご寄付をお願いします。
(いただいたお米等はフードバンク事業に活用しています。)



社会福祉 法人 白石市社会福祉協議会

〒989-0231 宮城県白石市福岡蔵本字茶園62-1
(白石市総合福祉センター内)

TEL: 0224-22-5210 FAX: 0224-22-1571

生活総合相談: 0224-22-2130

OE-mail: info@shiroishi-shakyo.jp

○白石市社協ホームページ <http://shiroishi-shakyo.jp/>

公式Facebookもぜひご覧ください。



しろいし社協

Qしろいし社協 検索

